

ふるさと通信

あいほ

<http://www.city.sanyo-onoda.lg.jp>

令和5年1月

N0.60

有帆地域交流センター発行
TEL 84-4090(FAX同)

あけましておめでとうございます

有帆地区ふれあいまつり



伝統の台唐(だいがら)で地域ボランティアの皆さんと小学生が餅つき

小雪舞い散る寒い12月18日、地域交流センターで行われた「有帆地区ふれあいまつり」は、輪飾りづくり、バザー、キッズふれあいコーナーなどがあり、3年振りの餅つきには子どもたちも一緒に参加し、大勢の人で賑わいました。

また、地域ボランティアの方によって地域交流センター前に恒例の門松が作られ、新し

い年を迎えることができました。

今年は、飛躍の年と言われる卯年です。今までの数年間から大きく「飛躍」し、私たちの生活が大きく「向上」する年になって欲しいものです。

有帆地区の皆さんが元気に過ごされ、たくさんの方が笑顔で地域交流センターを利用していただきたいと思います。

♡おいでませ交流センター♡

明けましておめでとうございます。昨年は、4月に公民館から地域交流センターに移行し、新たなスタートの年でした。今年も「人づくり」「まちづくり」の拠点として、学習活動、地域活動ができる利用しやすい施設を目指します。本年もたくさんの方のご来館を心よりお待ちしております。有帆地域交流センターを今年もどうぞよろしくお願いします。

学習成果を発表！学習フェスタ2022



癒される踊りのフラダンスクラブ

11月19日、有帆コミュニティ体育館にて生涯学習クラブによる学習フェスタを開催しました。例年であれば、有帆小学校と合同で行っていますが、コロナ禍で今年度も単独での開催となりました。ステージ発表、作品展示と活気あふれるフェスタとなりました。

参加された方から「こじんまりとしたフェスタでしたが、大変良かったですよ」という声を多く頂きました。準備から後片付けまでクラブ員による手作りで、楽しい一日となりました！



パッチワーククラブの作品

毎日いきいき！のぼそう健康寿命

9月～11月の3回「シニアのための身体の使い方教室」をよつば整骨院の吉田賢司さん・可奈さんを講師に開催しました。ストレッチのポイントと効果、正しいラジオ体操、脳の機能と脳トレ等を学びました。最後に先生から「毎日続けることが、健康寿命を延ばすポイントです」と言われ、是非とも今回学んだことを毎日続けて、頑張りましょう☆



音楽に合わせてラジオ体操

昭和の時代にタイムスリップ♪



昭和ロマン蔵前に参加者全員集合



昔ながらの薬局屋さんの見学

10月12日、有帆地域交流センターの館外学習に参加しました。大分県宇佐市「安心院葡萄酒工房」のワインの充填、醸造、貯蔵の工程を見学しました。昼食後、豊後高田市の「昭和の町」に向かい、昭和の街並みをユーモアあふれるガイドさんの案内で楽しく散策し、いつの間にかやさしい懐かしい昭和の時間が流れていきました。皆さんと楽しく一日を過ごすことができ、来年もぜひ参加したいと思います😊 (角石 松本とみ江さん)

ホームページにも講座の様子や受講生募集などの情報を掲載しております。ぜひご覧ください♪

有帆地域交流センター

検索

知っちょる有帆

せんりんに いしだたみみち
千林尼の石畳道・大休

かつて有帆大休から楠町船木をつないだ指月道（しづきどう）は、その険しい坂道や悪路で、荷を運ぶ多くの人馬を苦しめました。船木逢坂の観音堂の堂主千林尼は、そうした様子を見かね、自ら托鉢（たくはつ）して集めた浄財で、道に石畳を敷いたと言われています。

文久2年（1862年）8月に完成したこの石畳道、今なお一部（長さ約260m、幅1.5m）が現存し、「千林尼の石畳道」として、市の指定文化財に指定されています。

千林尼は、今からおよそ200年前、宇部市大沢で生まれ、生来、慈悲心に篤く、自ら托鉢して集めた浄財を資金に、



千林尼の石畳道



石畳道入口の石碑

山陽小野田・宇部地域において社会事業に励んだボランティアの先駆者です。

女性の社会進出が容易でなかったこの時代に、積極的に社会に働きかけ、船木から有帆への指月道、厚狭吉部田の小石橋、小野田船越の石畳、厚狭下津の木橋など数多くの橋や道路を築いて、60年の生涯を世の発展のために捧げました。彼女の墓は洞玄寺（とうげんじ）境内に奉られ、今なお、このまちを温かく見守っています。

（参考文献：故きを温ねて新しきを知る まち再発見 山陽小野田市）

ホタルの舞う美しい有帆・ホタル放流



10月28日、小学校の『ホタルのおうち』で大切に育ててきたゲンジボタルの幼虫と餌のカワニナを、有帆ふるさとづくり協議会ホタル部会の皆さんと3年生と一緒にホタル川に放流して「来年の6月には、元気で帰ってきてね」と見送りました。夏休みにも保護者と児童が登校し一生懸命育てた幼虫とのお別れは、少し寂しそうでした。



元気に育ってね！

合同防災訓練 in 有帆小学校

10月8日、有帆セーフティーネットワークと有帆小学校が合同防災訓練を行いました。

地震発生から小学校と各自治会が一時避難する訓練で始まり、体育館では消防団や防災士の指導により車椅子の避難を体験し、一方、運動場では起震車による地震体験・煙体験・水消火器体験・消防車による放水訓練体験などがありました。

伊藤博通会長は「多くの自治会の皆さんに参加していただき、大変有意義な訓練になりました。これからも訓練を重ね、命の大切さを伝えとともに安心・安全な街づくりに努めます」と力強く話されていました。



避難時の車椅子体験



起震車による地震体験



放水訓練



応急担架搬送訓練



行事予定

【1月～3月】

1,6995世帯 人口 3,588人
男 1,727人 女 1,861人
(12月1日現在)

1月

9日(月) どんと焼き
13日(金) 男性料理教室
17日(火) 知って得する講座(新春人生講話)
29日(日) 有帆セーフティーネットワーク研修会



2月



10日(金) 男性料理教室
14日(火) 知って得する講座(山口弁よもやま話)
26日(日) 有帆地区カラーリング大会



3月

9日(木) 地区社協 会食会
19日(日) ふれあいウォーキング



いっぱいあそぼう！有帆児童館こどもまつり

10月30日、有帆児童館で～自由にいっぱいあそんじゃおう～をテーマに「こどもまつり」が開催されました。手作りおもちゃとゲームコーナー、ヨーヨーふうせんつり、ボードゲームコーナーと皆さん笑顔いっぱいに遊んでいました。上田展弘館長は「短い時間でしたが、親子で楽しいひとときを過ごしてもらえたと思います」と感想を述べられました。



ふうせんつりにチャレンジ

祝

ふるさと通信「ありほ」奨励賞受賞



ふるさと通信「ありほ」の歩み

令和4年度山口県公民館報コンクールにて、ふるさと通信「ありほ」が奨励賞を受賞しました！4年連続の受賞で編集委員の安藤一さん、縄田哲生さん、田村重人さん、竹中幸子さん、西藤和子さんをはじめ、たくさんの地域の皆さんの思いや有帆愛がたっぷりつまったふるさと通信「ありほ」が、評価をいただけることを大変うれしく思います。いつも快く取材を受けてくださる皆さん、ありがとうございます。これからも有帆の「人とのつながり」「地域の絆」を深めるための広報誌づくりに努力していきますので、引き続きご愛読をお願いします😊

♡あいほ♡ふるさと絆リレー

①私の信念又は好きな言葉 ②地域への思い ③次にリレーする人へ一言

<div>58 森岡 麻美(フル)</div> <div>① 一期一会</div> <div>②有帆に住んで約30年。間数年は市外に出ましたが、ほどよい田舎！どこに行くにも約30分(笑)。昔の様に地域で子供を見守っていければいいですね。</div> <div>③バスケ部人数増えたらいいね～。バスケを通じて成長していく子供達を、これからも見守ろう!!</div>	<div>59 秋本 知代(ともちゃん)</div> <div>① 元気があれば何でもできる</div> <div>②有帆は自然豊かで、住みやすいところだと思います。自粛していたお祭りなども始まってきて、楽しみです。</div> <div>③親子共々お世話になってます。これからも、よろしく願いします!!</div>	<div>60 吉富 紋子(もんちゃん)</div> <div>① 七転び八起き</div> <div>②自分自身が田舎育ちなのですが、有帆の方々は自分の育った環境にとっても似ていて、皆さんが声をかけてくださりとても温かい所だと感じています。</div> <div>③いつも、助けてもらっています！</div>
---	--	---

⇒ 共和町の「ともちゃん」さんにバトンタッチ

⇒ 角石の「もんちゃん」さんにバトンタッチ

⇒ 次号、大休団地の堀こずえさんへ続く